

報道関係者各位

平成 25 年 10 月 9 日
株式会社ブロードバンドタワー

**ブロードバンドタワー、第 1 サイト(千代田区大手町)で 100 ラック規模の設備拡張を完了し、
受注を開始致します。**

株式会社ブロードバンドタワー(本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長:藤原洋、以下ブロードバンドタワー コード番号:3776 ジャスダック)は、東京都心の第 1 サイト(千代田区大手町)において、需要の増加に伴い、数百ラック規模の増設を計画し、この度一次増強を完了致しました。また、合わせて UPS 等の電源設備についても増強を実施・計画しております。

ブロードバンドタワーでは、都心・地域連携型データセンターのコンセプトのもと、今後もさらに充実したデータセンターサービスの提供を行ってまいります。

■ 本発表の背景と目的

<市場背景>

IDC Japan の発表※では、2017 年のデータセンターサービス市場の規模を 1 兆 2,831 億円、2012 年～2017 年の年間平均成長率を 7.0%、また、東京都については同期間にて全国平均を上回るペース(8.3%)で市場が拡大すると予測しております。

※ 出典: IDC Japan プレスリリース「国内データセンターサービス市場予測を発表」(2013 年 10 月 1 日)

<目的>

ブロードバンドタワーの第 1 サイトは、日本のインターネット接続の中核拠点と隣接する好立地であることから、これまでほぼ完売の状況にありましたが、近年のスマートデバイスの普及によってモバイルデータトラフィックが増大傾向にあり、サイト内で IX(※1)や主要な通信事業者との接続可能な MMR(※2)を有している第 1 サイトの需要が高まっております。そこで、同サイトにラックを増設するとともに、電源設備の増強を計画・実施致しました。

今回のラック・電源設備の増強は、高まるサービス需要にお応えするものです。

※1 IX = Internet eXchange point

※2 MMR = Meet Me Room(キャリア相互接続ポイント)

■ブロードバンドタワーのコロケーションサービスについて

ブロードバンドタワーのデータセンターは、東京 23 区内に 3 箇所、大阪に 1 箇所を構えており、いずれも主要駅から 30 分から 1 時間でアクセスでき、いざというときにすぐにオンサイトでの対応が可能です。また、耐震基準や安全基準を十分に満たしており、大規模な災害があった場合でも 安心してご利用いただけます。

第 1 サイト内 MMR では、通信回線についての制約が全くない、「キャリアニュートラル」な通信環境をご提供しております。IX 事業者、主要通信キャリア、CATV 事業者、CDN 事業者、大手コンテンツプロバイダーとの構内接続が可能となり、お客様のニーズに合わせたネットワーク構築が実現できます。

首都圏と関西圏の分散二重化体制を整えており、ディザスタ・リカバリを含めた総合的なソリューションもご提案いたします。

■ ブロードバンドタワーについて

会社名： 株式会社ブロードバンドタワー

所在地： 〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目3番2号 内幸町東急ビル

代表者： 代表取締役 会長兼社長CEO 藤原 洋

設立： 2000年(平成12年)2月9日

URL：<http://www.bbtower.co.jp/>

ブロードバンドタワーは、高度な運用技術と信頼性の高いハウジングサービス、インターネット接続サービス、およびクラウドサービスを提供しています。アクセスの良い都心にインターネットデータセンターをはじめとしたネットワークインフラストラクチャー資産を有し、インターネットサービス提供企業をはじめとした、多数の企業から高い信頼を得ています。またEMC社のEMCアイシロン スケールアウトNAS等のビッグデータ対応ソリューションを提供しています。

■ 報道関係者お問い合わせ先

株式会社ブロードバンドタワー マーケティンググループ

電話：03-5202-4810 FAX：03-5510-3431 E-mail：pr-ir@bbtower.co.jp

<http://www.bbtower.co.jp/>